

八中1年人権だより

徳島市 八万中学校
1年生 第4号
2020年 7月20日
編集・文責 吉成正士

八中1年人権作文発表会を終えて

先日の人権作文発表会を、みなさんの感想を中心に、これから数回に分けて紹介したいと思います。

僕はこの人権学習をする前は、差別や偏見は人ごとだ、なぜそのようなことをしなくてはならない、と強く思っていました。しかし、この人権学習では、前で発表した6人がまったく人ごとではないことが分かりました。6人も人権のことに他の人よりとてつもない量を書き、すごいと思いました。僕はあの6人のような人になりたいです。でもなりたいたけじゃ駄目だから、これからたくさんの人権学習をし、自分でも自主的に人権を学んでいこうと思いました。

最後に、僕は発表をしませんでした。理由はただ単に恥ずかしかったからです。しかし、これからはたくさん手を挙げようと思いました。理由は、差別や偏見、いじめなどをされている人は、自分が恥ずかしいという気持ちよりも嫌な気持ちがあると思うからです。また人権学習でなく、他の授業もたくさん手を挙げようと思いました。理由は、視野を広くすることによって人権のことがより一層知れると思ったからです。 IM

やはり、人を知ることは大切なことだということが伝わってきます。知れば知るだけ、人権を考えることは身近なことであり、大切だということが実感できるのだと思います。そしてそれは、誰かに強制されてやるのではなく、自分を高めるために自主的に、楽しいからやる、ということではないでしょうか。

また、いろんな被差別の立場にある人の気持ちを考えれば、手を挙げるのが恥ずかしいなんて言ってもらえない。手を挙げて主体的に学ぶことは、自分のためにもなることを書いてくれています。授業は自分たちでつくるもの。そんな毎時間は、みなさんの主体性をつくってくれます。やらされるより、自ら進んでやる方が、より身につきます。そんな姿勢が、人権学習にも良い影響を与えてくれるはず。みなさんの「やる気スイッチ」は、そこにあるのかもしれませんが。

私は今日6人の発表を聞いて、それぞれがいろいろな思いをもちながら、人権を大事にして今日まで生きてきたんだなと思いました。それにやっぱり人のことを考えられない人もいるけど、ちゃんと人のことを第一に考え、行動できる人もいてことを忘れずに、私もそんな人になれるように生きていきたいです。

最近はやな噂話や差別的な問題やいじめ問題と、様々な問題を抱えています。それらの問題を解決するのは相当難しいと思います。でもそこで諦めて他人ごととして考えていくのは一番の間違いです。どんな問題もいずれかは自分に関わってくる問題です。だからそこで間違いに立ち向かわないと意味がないと私は考えま

す。だからこれからは様々な問題に立ち向かい、自分の問題じゃなくてもちゃんと親身になってその問題に関わっていきたいです。そしていつか、差別やいじめなどの間違いがない世界に近づけるようにします。そのためには私自身から積極的にあらゆる問題へと立ち向かっていこうと思います。そうやって、世の中を変えていきたいです。 SM

人を知ることで、自分の生き方も変わっていく。ありがたいことですね。確かにすべての差別問題を解決することは難しいことかもしれません。でも、まず一人がはじめないと、解決するものも解決には結びつきません。これまでも多くの当事者が、多くの人々が解決に向けて取り組み、闘ってきました。今ここで歩みを止めてしまえば、元に戻るだけです。これまで闘ってきた多くの人々の生き様から、知恵や勇気、たくましさや学び取り、私たちに生かしていければ、少しずつ、少しずつではありますが、世の中を変えていくはず。そんな一人に、あなたもなっていくませんか。

私はこの人権作文発表会をして、数え切れないほどたくさんの考え、意見、思いが聞けて、新しく学びました。今回は私は読む側であり聞く側でもあったため、2つの立ち位置に立つことができました。みんなきっと、自分たちの気持ちが動いたと思います。特に差別について聞くことが多くありました。差別を受けた側はその苦しみを知っていて、差別をした側は今回の学習で自分を見つめ直そうと思ったと思います。私は発表した人以外にも、誰かに助けられて今の自分がいるという人は他にもたくさんいると思います。そして次は誰かを助けられる存在でありたいと思うはず。いじめ・差別を受けたことのある人は、きっといじめられている人や差別を受けている人の支えへと変わります。

意見交換の時にUさんは、「今のままのEさんでいてほしい」と言ってくれました。その一言だけでも、私の喜びははかりしれませんでした。Uさんは小学校からのつきあいだったので、私のことを見てくれていたと思うと嬉しくなりました。Uさんだけでなく、他にも小学校が違う人からも意見、思い、考えが聞けました。この私の発表を聞いて、心に届いている人が他にもいれば、私はそれだけで誰かを助けた気持ちになれます。 ED

つながりを感じるだけで、生きる勇気が湧いてきます。今回の発表会で人の意見や考え、思いを知り、そのような思いになった人はたくさんいたのではないのでしょうか。今はもういじめや差別を受けてないから他の人のことなんてどうでもいい、ではなくて、されて嫌だったからこそ、誰かの支えになりたいと思えるのだと思います。目に見えない糸のようなつながりのベースには、「人を信じる」という思いがあります。つ

なかりをより強く、太くし、互いへの信頼と尊敬を深めていけば、私たちはもっと変わるはず。きっと変われます。まず、身近な私たちから変わっていくことです。

私が一番印象に残ったことは、「差別は人ごとではない」ということです。私は人種差別や性同一性障がいなどは、少し遠い話だと思っていました。しかし、6人の人たちの作文やみんなの意見を聞いて、たくさんの差別が身近にあるんだなと感じました。そしてまさか自分たちまで差別の対象になっているとは思いませんでした。少し胸が苦しくなりました。

私は他の人たちと同じように、「差別はなくなる」と思います。しかし、「差別を少なくする」ことはできません。難しいことからではなく、「友達で困っている人がいれば声をかける」「家族、友達を大切にする」など、まずは小さいことから取り組んでいくと、少しは変わるかもしれません。そして、「自分は自分、人は人」「十人十色」この言葉を大切にしていると、「差別なんて下らない」と思えるようになるはずです。

私は、この人権作文発表会で、とても大切なことを学びました。このことを、これからにつなげていきたいと思っています。そして、「昨日の自分よりも今日の自分、今日の自分よりも明日の自分が好き」と言えるようになります。IM

自分が知らなただけで実は自分の身近なところにあった、ということはいくつもあるものです。そしてもっと驚きなのは、自分のことではないと思っていたことが実は自分のことだった、ということです。それでショックを受けた生徒をこれまで何人も見てきました。

ヒトゴトでいると、いざ「自分の問題」であることに気づいたとき、それまでヒトゴトのように思ってきた自分にショックを受けたりします。やはり、知ること、学ぶことです。知れば知るほど、学べば学ぶほど、どう考えればいいのか、どう生きていけばいいのかを、歴史や先人の知恵から学び取ることができます。これは、私たちの命を守る学習です。互いの命を守る学習です。そうやって、みんなで共に成長していくのです。

僕はこの人権作文発表会をして思ったことは、代表の人は200人、300人いる中で、よくスラスラ発表できているなと思いました。6人の人たちの素晴らしい作文を聞いて、勉強になったことや、知らなかった言葉など参考になったし、調べたり、自分の実際にあったこと、その時の感情がとてりリアルに書かれていたので、納得しました。

そしてトップバッターのHさんの作文についてです。一度手紙で見たことはあったけれど、Hさんが自分で発言しているので、手紙とは全然違う作文になりました。Hさんは代表に選ばれてから、学校の休み時間の時もやっていたし、家でも練習すると言っていました。そして本番になって、最初になって、とても緊張していたと思うけれど、Hさんの思いが伝わってきたし、大きな声で言っていたので、すごいと思いました。そしてHさんが代表で良かったと、あらためて思いました。

スラスラではないと思いますよ～。放課後やお家など、みんなの知らないところで、みんなのしない努力をし、あの場に立ったのです。そして、口から心臓が飛び出そうなくらいドキドキしながら発表していたのです。

それとやはり、生の声で聞くことの意味です。書いた物を読むだけではない、体温のようなもの、言葉の中に含まれる思いや熱のようなものを、感じる事ができたのではないのでしょうか。それが伝わったからこそ、胸に響いたのではないかと思います。

人により表現の方法は様々です。絵に描いたり、歌にしたり。でも、できるならば、スマートじゃなくても、詰まりながらも、生の声で伝えることです。みなさんも自分なりに構いません。頑張ってみませんか。

人権について詳しく知ることができました。自分が体験、経験してきたことを読んでもらって、これは大切だ、私もそんな経験した、ということに気づきました。いじめ・差別についても知れました。結局すべて大切であるが、いろいろ心に残った言葉もありました。

私は人権について発表することは、本当に大切なんだなと思い、自分自身で人権に向かい合ってみようと思いました。次の人権作文を書く時は、もっと自分が思ったことを素直に書いてみようと思います。今回書いた私の人権作文と、発表してもらった人権作文を比べると、全然違いました。発表してもらった作文は、素直な気持ちをすべて書いていると思いました。それに、きれいにまとめて自分の意見を言っていました。私も書き方や発表の仕方を見習って勉強できました。いい人権作文発表会にできました。とっても楽しかったです。次はもっと意見を発表したり、聞いたり、今日発表してもらった人以外の意見も活用していきたいと思っています。いろんな人がいろんな意見を発表できていて良かったです。私もなぜか緊張したけど、とっても楽しい時間だったので、また行きたいです。MM

多くの人が、「こんな経験をしたのは自分だけ」「こんな思いをしてるのは自分だけ」と思いがちです。そういうこともあるでしょう。けど多くの場合、他にも同じような経験をしてる人、同じような思いをしてる人はいるのです。話してみると、意外と、「なーんだ、自分だけじゃなかったんだ」という思いになるものです。やはり、話してやること、語り合ってみることで、そして人権作文は、自分の経験したこと、思ったことを、飾らず素直に書くことです。

それと、どうして緊張したか分かりますか？ それはあなたが、発表している人の気持ちで、あの場所に臨んでいたからです。それを、共感といいます。すごく大切な気持ちです。「なぜか緊張した」のに、「とっても楽しい時間だった」。緊張を楽しめる人は、いざというときに強い人です。みんなにそんな人になってもらいたい。またこのような機会をつくりたい。ぜひそんな人をめざしていきましょう。



次号に続く